

<b>専門分野</b> 数理経済学				
<b>科目区分と授業科目</b> (学問分野別科目と主題探究型科目の両者について、必ず授業科目を選んでください。)				
<b>学問分野別科目 (120~150人程度)</b> 以下の授業科目について、1つチェックしてください。なお、「工学入門」「農学入門」「日本国憲法」については、別途担当依頼をいたします。				
<input type="checkbox"/> 環境学入門	<input type="checkbox"/> 人間科学入門	<input type="checkbox"/> 生活科学入門	<input type="checkbox"/> 哲学入門	<input type="checkbox"/> 文学入門
<input type="checkbox"/> 言語学入門	<input type="checkbox"/> 歴史学入門	<input type="checkbox"/> 考古学入門	<input type="checkbox"/> 地理学入門	<input type="checkbox"/> 法学入門
<input type="checkbox"/> 政策科学入門	<input checked="" type="checkbox"/> 経済学入門	<input type="checkbox"/> 社会学入門	<input type="checkbox"/> 心理学入門	<input type="checkbox"/> 数学入門
<input type="checkbox"/> 物理学入門	<input type="checkbox"/> 化学入門	<input type="checkbox"/> 生物学入門	<input type="checkbox"/> 地学入門	
<b>授業題目 (学問分野別科目)</b> (主な話題となる分野・領域がわかるようにしてください。) <b>【例: 恒星の進化と地球の未来, 日本文学の世界 ~近現代文学を中心に~】</b>				
くらしと経済学				
<b>授業のキーワード(3つ程度)</b> 市場機構, 経済成長, イノベーション				
<b>授業概要(学問分野全体を俯瞰する内容を、必ず含めてください。)</b> 初めに、経済社会の全般的な歩みが、所有権の確立とその分配関係の変遷によって規定されてきたことを振り返る。次に、くらしの中の経済現象を、市場機構、経済成長、イノベーションの観点から分析し、考える力を養う。講義前半は、市場の意義、企業システム、雇用問題について統計データを確認しながら説明する。後半は、国内総生産の概念についてまず説明し、成長とイノベーションの経済的意義について考察する。最後に、現在の日本経済が抱えている問題点とその解決策を展望する。				
<b>主題探究型科目 (50人程度)</b> 以下の授業科目について、1つチェックしてください。				
<input type="checkbox"/> 環境を考える	<input type="checkbox"/> 倫理と思想を考える	<input type="checkbox"/> 歴史を考える	<input type="checkbox"/> ことばの世界	
<input type="checkbox"/> 芸術の世界	<input type="checkbox"/> 地域と世界	<input checked="" type="checkbox"/> 社会のしくみを考える	<input type="checkbox"/> 現代社会の諸問題	
<input type="checkbox"/> 現代と科学技術	<input type="checkbox"/> 自然のしくみ	<input type="checkbox"/> 生命の不思議		
<b>授業題目 (主題探究型科目)</b> (探究するテーマ(問い)を設定してください。これを基に、学生が自ら学習課題を設定できるような題目にしてください。) <b>【例: 生物多様性を考える, 擬音語・擬態語から日本語を考える】</b>				
経済変動や市場組織と私たちのくらしとの関わりについて考える				
<b>授業のキーワード(3つ程度)</b> 市場機構, 経済成長, イノベーション				
<b>授業概要(次の設問で選択するアクティブ・ラーニングの手法を、授業でどのように活用する予定であるかも記入してください。)</b> 身近なくらしの中に現れる経済現象について、市場機構、経済成長、イノベーションの視点から説明し、考える力を養う。初回の講義では、ガイダンス後に全体の大きなテーマ(キーワード)を示し、その解説を行う。第2回の講義でグループ分けを行い、各グループでテーマに沿った個別の課題を決める(PBL)。第3回から第5回の講義時間内に、報告のために必要なグループワークを行う。第6回から第8回の講義中に各グループが成果を発表し、講評を加えた後、グループごとに最終レポートの課題を示す。				
<b>主題探究型科目で使用する予定のアクティブ・ラーニング(主要なものを1~3個選択してください。)</b>				
<input checked="" type="checkbox"/> Problem Based Learning / Project based learning		<input type="checkbox"/> 調査	<input type="checkbox"/> フィールド・ワーク	
<input type="checkbox"/> 実習	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実験	<input type="checkbox"/> ロール・プレイング・シミュレーション	
<input checked="" type="checkbox"/> ペア・グループワーク		<input type="checkbox"/> ディスカッション/ディベート	<input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション	
<input type="checkbox"/> 双方向型演習				
<b>授業上の特記事項 ※省略可</b> 特になし				
担当を希望する科目区分があれば、その科目区分にチェックを入れてください。 <b>※参考資料といたしますが、必要な開講授業数との関係上、希望通りにならないことがあります。</b>				
<input type="checkbox"/> 学問分野別科目		<input type="checkbox"/> 主題探究型科目		